


## ニュースリリース

2011年11月1日

大和証券、大和証券キャピタル・マーケットにて、  
2011年11月1日より当初募集開始(11月22日設定)

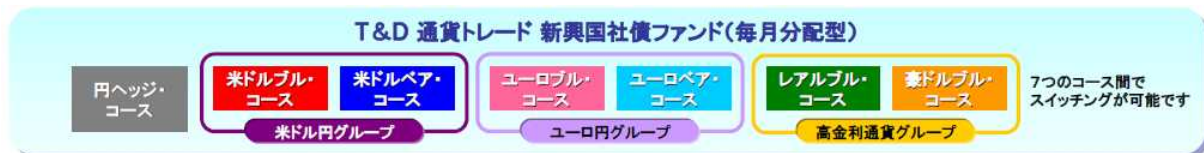


**T&D 通貨トレード 新興国社債ファンド(毎月分配型)**

円ヘッジ・コース    **米ドルプル・コース**    **ユーロプル・コース**    **リアルプル・コース**  
                                  **米ドルベア・コース**    **ユーロベア・コース**    **豪ドルプル・コース**

T&D保険グループのT&Dアセットマネジメント株式会社(東京都港区、代表取締役社長:藤瀬 宏)は、「T&D 通貨トレード 新興国社債ファンド(毎月分配型)」を本年11月22日に設定します。

### 当ファンドの特色



米ドル建ての新興国ハイイールド社債を実質的な主要投資対象とします。

- 米ドル建ての新興国ハイイールド社債を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカム収益の獲得と中長期的な信託財産の成長を目指します。
- 新興国ハイイールド社債の運用は、JPモルガン・アセット・マネジメント(UK)リミテッドが行います。

当ファンドは、米ドルの円に対する為替変動リスクを低減させた「円ヘッジ・コース」に加え、相場環境に応じて機動的な投資が可能な6つの通貨コースを合わせた、合計7つのコースから構成されており、各ファンド間でのスイッチングが可能です。

- 円による為替ヘッジ<sup>1</sup>により為替変動リスクを低減させた「円ヘッジ・コース」に加えて、円安・円高のそれぞれの局面に有効な選択肢を提供できる「米ドル円グループ」「ユーロ円グループ」のほか、為替取引プレミアム<sup>2</sup>の獲得が期待できる「高金利通貨グループ」があります。

1: 当ファンドにおける「為替ヘッジ」とは、円買い/米ドル売りを行うことで、実質的な主要投資対象である米ドル建ての新興国ハイイールド社債を円ヘッジすることをいいます。また、それに伴って発生する金利差損益のことをそれぞれ「為替ヘッジコスト」「為替ヘッジプレミアム」と呼びます。なお、為替ヘッジにより米ドルの円に対する為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるわけではありません。

2: 当ファンドにおける「為替取引」とは、各コース(円ヘッジ・コースを除く)における為替運用をいいます。また、それに伴って発生する金利差損益のことをそれぞれ「為替取引コスト」「為替取引プレミアム」といいます。なお、高金利通貨グループ以外のコースにおいても為替取引コスト/プレミアムは発生します。

毎月15日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

- 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。
- 初回決算日は平成24年2月15日です。

資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

\* 本件に関するお問い合わせ \*

T&Dアセットマネジメント株式会社 投信営業部 正木・松倉  
電話 03-3434-5544    <http://www.tdasset.co.jp/>

## お申込みメモ

商 品 分 類	追加型投信 / 海外 / 債券 / (特殊型 ) 米ドルペア・コース、ユーロペア・コースのみ	
購 入 単 位	販売会社が定める単位	
購 入 価 額	当初申込期間	1口当たり1円
	継続申込期間	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換 金 代 金	原則として換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。	
申 込 不 可 日	下記のいずれかに該当する日(申込不可日)には、購入、換金およびスイッチングの申込みはできません。 <申込不可日> ・ ロンドンの銀行または金融商品取引所の休業日 ・ ニューヨークの銀行または金融商品取引所の休業日	
申 込 購 入 期 間	当初申込期間	平成23年11月1日から平成23年11月21日まで
	継続申込期間	平成23年11月22日から平成24年12月18日まで 期間満了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。
信 託 期 間	平成33年11月15日まで(平成23年11月22日設定)	
決 算 日	毎月15日(休業日の場合は翌営業日) 初回決算日は平成24年2月15日とします。	
収 益 分 配	年12回、毎決算時に収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。 販売会社との契約によっては、税引後無手数料で再投資が可能です。	
ス イ ッ チ ン グ	各ファンド間で、スイッチングが可能です。スイッチングの際には購入、換金時と同様に費用等がかかりますのでご注意ください。 (ただし、円ヘッジ・コースへのスイッチングには手数料はかかりません。)	

## ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に、 <b>3.15%(税抜3.0%)以内</b> で販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	ありません。
スイッチング時手数料	購入価額に対して <b>0.21%(税抜0.2%)</b> (円ヘッジ・コースへのスイッチングには手数料はかかりません。)

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	毎日、ファンドの純資産総額に年 <b>1.344%(税抜1.28%)</b> の率を乗じて得た額とします。 実質的にご負担いただく信託報酬率: 年 <b>1.974%(税抜1.91%)程度</b> (注)ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。
その他の 費用・手数料	【監査費用】 毎日、ファンドの純資産総額に年 0.0084%(税抜0.008%)の率を乗じて得た額とし、ファンドで ご負担いただきます。 【その他】 証券取引に伴う手数料等をファンドでご負担いただきます。これらの費用・手数料については、 運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。

当該手数料等の合計額については、投資者が当ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。

## 当ファンドの投資リスクについて

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者に帰属します。したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドの基準価額の変動要因となる主なリスクは次の通りです。

**債券価格変動リスク 信用リスク カントリーリスク 為替変動リスク 流動性リスク**

基準価額の変動要因(リスク)は、上記に限定されるものではありません。

詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。

## ご留意いただきたい事項

- 当資料は、ニュースリリースとしてT&Dアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、勧誘を目的に使用することはできません。
- 当資料は、信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 投資信託はリスクを含む商品であり、株式および公社債等値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 購入のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断いただきますようお願い致します。投資信託説明書(交付目論見書)は各販売会社にてご入手いただけます。

以上